

「平成 18 年 7 月豪雨」による中央道の被害状況など

平成 18 年 7 月 28 日
中日本高速道路株式会社

1. 通行止め状況

長野県南部地方に 7 月 17 日から雨が降り出し、18 日夜半には中央自動車道（中央道）、長野自動車道（長野道）のうち基準雨量に達した地点で通行止めを行った。通行止め区間が最大となったのは 19 日午前中。中央道・諏訪南インターチェンジ（IC）から中津川 IC までと長野道・岡谷ジャンクション（JCT）から豊科 IC までの間、約 160 km が通行止めとなった。

高速道路上の主な観測点では、辰野パーキング・エリアで時間最大雨量 25.5mm、連続雨量 251mm、宮田で時間最大雨量 25mm、連続雨量 316mm を記録した。

2. 被害状況

通行止め措置後の 19 日深夜から翌未明にかけて、中央道の一部区間で、高速道路区域外からの土石流により本線上に大量の流木や土砂堆積の被害が発生するなど、数力所で被災が確認された。

しかし、被災前にすでに通行止めを行っていたため、お客様への被害はなかった。

（主な被災箇所）

	IC間 / KP	通行止め 開始日時	発生(発見) 日 時	被災概要	通行止め 解除日時
①	諏訪～岡谷JCT 180.1kp付近	7/19 4:00	7月19日 5:15頃	区域外からの土石流により本線 土砂堆積	7/20 3:00
②	岡谷JCT～伊北 191.7kp付近(辰野PA)	7/19 4:00	7月19日 6:00頃	下り線部、区域外からの土砂崩 れの土石流が上下線へ流入 (排出土量約 5,000 m ³)	7/21 1:15
③	伊那～駒ヶ根 213.6kp付近(宮田)	7/18 22:50	7月19日 1:45頃	前沢川の土石流が水路BOXで 堰き止められ、本線土砂・流木 流入(流木約 600 m ³ 、排出土量 約 5,000 m ³)	下 7/21 20:00 上 7/22 1:00

3. 復旧作業（応急復旧作業）

被害を受けた各被災箇所では昼夜を徹し、述べ約 1,200 名、作業車両・機械約 400 台を投入し、流木や堆積土砂の排除、土のう設置などの応急復旧作業を 3 日間で完了させ、通行止め解除に至った。

4. 今後の復旧作業

高速道路区域外からの土石流などにより被害を受けた箇所については、車線規制を行いながら、8 月初旬までに、土留め矢板による土石流防止柵を設置する。その後、地元自治体と協議しながら、高速道路区域外にも土石流防止策を実施する。

5. 高速道路の無料措置

諏訪湖周辺の国道 20 号の通行止めに伴い、7 月 20 日 11 時～18 時に中央道・諏訪 IC～長野道・岡谷 IC 間の無料通行措置を実施した。

①180.1kp付近



②191.7kp付近



高速道路上に流木などが堆積し下流域の田畑へ流出を防いだ

③213.6kp付近



高速道路が土石流を堰き止め下流域、家屋65軒への被害を緩和した

土留め矢板(鋼製)による土石流防止さく



「平成18年7月豪雨」による中央道の主な被災箇所図

①諏訪～岡谷Jct
180.1kp付近

②岡谷Jct～伊北
191.7kp付近(辰野PA)

③伊那～駒ヶ根
213.6kp付近(宮田付近)

